

2022年度事業報告書（案）

特定非営利活動法人 とよなかESD ネットワーク

I 事業期間

2022年4月1日から2023年3月31日まで

II 事業の成果

2022年度は、大きな転換期にあたる年になりました。3年間委託を受けてきた市民活動情報サロンが市民公益活動支援センターに機能移転するにあたり、受託に向けたメンバーの育成と公募への挑戦という一つの目標に向けて尽力しました。加えて、豊中の市民活動のこれまでを振り返り、これからの市民活動がどうあるべきかを考える、節目の年にもなりました。施設の移転と新拠点の整備が同時進行という過酷な状況でしたが、メンバーが一丸となり力を注ぐことができたことは、組織としても大きな成果となりました。

また、子どもの居場所ネットワーク事業が一期の最終年を迎える中で、モデル事業としての相談支援拠点の運営も行いながら、尚且つ両事業の次年度の公募にも挑戦しました。ネットワーク事業は、コーディネーターの活躍がめざましく、地域へのさらなる広がりにつながっています。相談支援拠点（いこっとホーム）事業においては、学生や社会人のボランティアに支えられながら職員も成長し、学校や家庭から頼りにされる存在になりつつあり、法人としても要の事業となりました。

これまで運営委員としてカリキュラムづくりに関わってきた「とよなか地域創生塾」については、卒塾生との関わりが密接になり、職員としても複数名迎え入れることができました。今後も、地域を共に創っていくパートナーとして大いに期待が持てそうです。

III 事業の実施に関する事項

1. 協働育成事業

① 学校支援事業

・学校出前授業

ゲストに多様な大人を招いて自身の生き方について語ってもらい、家庭科やキャリア教育の授業で、自分のライフプランを立てるための材料として活用されました。

【内 容】 ライフデザイン講座の出前授業。

【実施日時】 9月、11月

【実施場所】 豊中高校・豊島高校

・学校連携授業

【内 容】 SDGs 探求授業において、連携先の事業者や市民活動団体を紹介。また、中間発表のアドバイザーやまとめ方のサポートを行ないました。

【実施日時】 6月～10月

【実施場所】 箕面自由学園高等学校

・教職員研修

【内 容】 豊中市教職員10年目研修にて「学校・家庭・地域の連携」について講演

【実施日時】 7月中

【実施場所】 豊中市教育センター

② 子ども・若者向け事業

・ 学習支援「おもろ荘プロジェクト」

長年拠点としてきたリレーションハウスから「ぶどうの実」という場所に移転し、活動を継続しました。高校を卒業した学生が、大学生になってボランティアとして参加するなど、来ている子どもたちにもさまざまな成長が見られました。

【内 容】 学ぶ環境が整っていない子どもや学校に行きにくい中高生への学習支援

【実施場所】 ぶどうの実

【実施日時】 2022年4月～2023年3月

・ 「ただいまプロジェクト」「みんなのなりわい塾」

赤い羽根募金の助成金と子どもの未来応援助成金（WAM）を受けて、主に食生活を中心とした生活体験を行う「ただいまプロジェクト」と生きていくために必要な文化体験やキャリア教育プログラムなどを行う「なりわい塾」を開催しました。

【内 容】 社会的養護が必要な子どもたちの居場所づくりと体験の機会提供

【実施場所】 B B ハウス（大黒町）

【実施日時】 2022年4月～2023年3月

③ 市民活動団体支援

市民公益活動支援センターが2月に開設されるまでの10ヶ月間、市民活動情報サロンを延長して受託。サロン最終月には「ありがとうサロン」と題して、行政との協働の歴史を振り返ることができました。2月より、庄内コラボセンター内に機能移転した市民公益活動支援センターを受託。新施設ということで、まずは仕組みを整えることに注力しました。

【内 容】 市民活動情報サロンの委託運營業務(1月末まで)

豊中市立市民公益活動センター（2月～3月）

【実施場所】 市民活動情報サロン・市民公益活動支援センター

【実施日時】 2021年4月～2022年3月

【事業の対象者】 市民公益活動団体、ボランティアをしたい市民など

④ 地域の担い手育成

今期で6期目となる「とよなか地域創生塾」については、例年同様に運営スタッフとして参加。職員からも1名、ボランティアからも1名が塾生として参加しました。卒塾生を当法人の新規事業に雇用するケースもあり、卒塾生の活躍がますます期待されます。

【内 容】 とよなか地域創生塾でのワークショップ講師や塾生サポート

【実施場所】 人権平和センターなど

【実施日時】 2022年4月～2023年3月

【事業の対象者】 塾生、豊中市民など

2. 連携促進事業

① 学校、家庭、地域の連携コーディネート

・ 子どもの居場所ネットワーク事業

委託事業3年目の節目の年。校区連絡会への参加やCSWとの連携など、地域とのつながりが深まる一年になりました。学生コーディネーターの活躍もあり、大学生や高校生の積極的なボランティア参加も見られました。

【内 容】 子どもの居場所ネットワーク事業
【実施場所】 市内全域
【実施日時】 2022年4月～2023年3月

・子どもの居場所・相談支援拠点事業「いこっとホーム」
いこっとホーム事業では、子どもの居場所運営を通じて、近隣の居場所や専門機関・学校と連携するための仕組みづくりを行ないました。

【内 容】 社会的養護が必要な子どもたちの居場所づくり
【実施場所】 B B ハウス（大黒町）
【実施日時】 2022年4月～2023年3月

② 協働の文化づくり事業

庄内に義務教育校ができるにあたり、地域と連携した職業体験授業ができるよう、カリキュラムづくりから関わらせてもらうよう提案しました。

【内 容】 庄内さくら学園との非認知能力を育む教育プログラムづくりの提案と検討
【実施場所】 豊中市役所
【実施日時】 通年

③ ESD 情報の収集と連携づくり

【内 容】 ESD リソースセンターWEB 運営事業
【実施場所】 市内外全域
【実施日時】 2021年4月～2022年3月

④ ESD 教材開発

【内 容】 ESD セミナーやSDGs の研修プログラムの開発と実施
【実施場所】 環境交流センター、クリーンランド他
【実施日時】 2021年4月～2022年3月

3. ESD の情報収集・発信

【内 容】 SDGs に関する情報を収集し、ホームページなどで発信
【実施場所】 当法人事務所
【実施日時】 随時

4. 講師派遣

【内 容】

- ・クリーンランドで市民向けにSDGs 研修（通年）
- ・男女共同参画推進センター「すてっぷ」講座のオンラインサポート（9月）
- ・夏休みお買い物探検隊の企画運営：くらし支援課委託事業（8月から11月）
- ・千里にほんごボランティア研修：千里連携センター委託事業（8月）
- ・多文化まなびあいネットワーク：国際交流協会（6月）
- ・人権まちづくりセンター円卓会議ファシリテーション（12月・1月）
- ・泉丘公民分館講座「子どもの権利」研修（3月）
- ・阪南市の公民協働のパネルディスカッション登壇（11・1月）

- ・豊中市人事研修「子どもの居場所の現状」(11月)
- ・環境交流センターESDセミナーのコーディネーター(3月)など

IV 社員総会の開催

・2022年5月26日(木)19:00~21:00まで市民活動情報サロンとオンラインにて2022年社員総会を開催し、2021年度事業報告(案)と決算(案)、2022年度事業計画(案)と予算(案)について審議した結果、全て可決承認された。

出席者は、社員15名のうち参加者9名、委任状提出者2名を含めて11名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催する中で、団体のビジョンミッションの確認を行った。また、その理念に沿った事業展開ができているかの確認を行いながら、事業企画も進めた。

2022年度 定期理事会

- 第1回理事会 4月14日(金)5名
- 第2回理事会 5月19日(木)6名
- 第3回理事会 7月29日(月)7名
- 第4回理事会 8月26日(金)6名
- 第5回理事会 9月29日(木)7名
- 第6回理事会 10月29日(火)6名
- 第7回理事会 12月26日(月)6名
- 第8回理事会 1月30日(月)6名
- 第9回理事会 2月20日(月)6名
- 第10回理事会 3月14日(火)5名

上記以外に、理事の中から5名選任し、中長期計画について検討する検討会を開催した。

- 第1回 9月22日(木)
- 第2回 11月8日(火)
- 第3回 12月12日(月)